

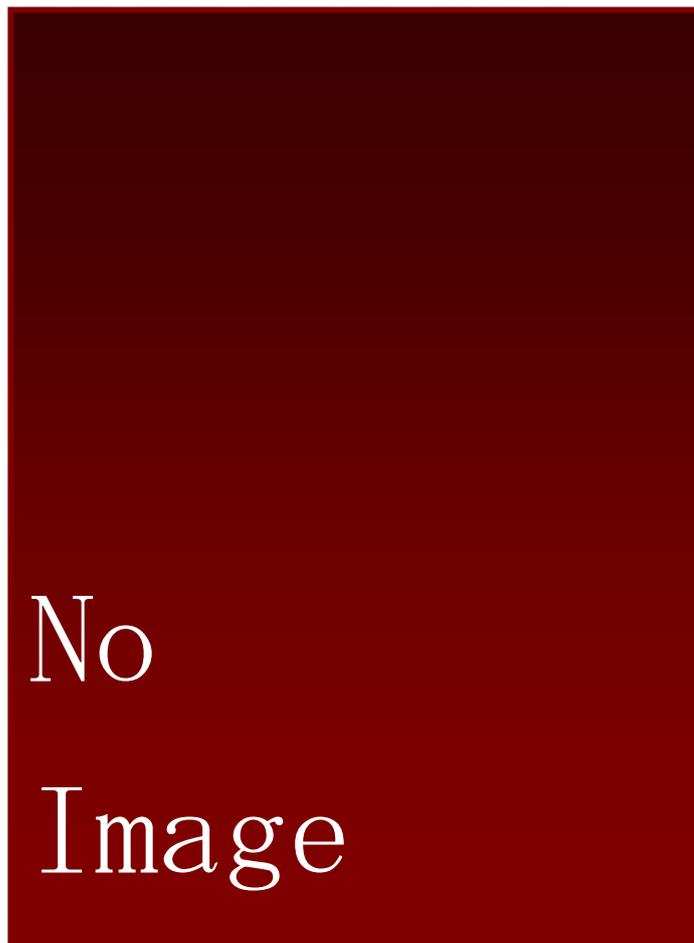
2009年5月15日

今回のおすすめメニュー

## 『夢十夜』

夏目 漱石・作 金井田 英津子・画 パロル舎

【所蔵館】中央館・石川館・勝連館・移動図書館 【請求記号】913.6ナ



こんな夢を見た。  
腕組をして枕元に坐っていると、仰向に寝た女が、静かな声で  
もう死にますと云う。



ちょっとあじみ

「こんな夢を見た。」から始まる10の短編小説。女の枕元に坐っていたり、侍になっていたたり、六つになる盲目の子供を負っていたり…。不思議で少し残酷な、それでもどこかひきつけられる夢のおはなし。ちょっと怖いけれど、あいきょうのある版画とともに、いかがでしょうか。

夏目漱石といえば、『こころ』『坊っちゃん』『吾輩は猫である』の著者です。この『夢十夜』は、一話一話が短いながらも、漱石の端正な文章と幻想的な世界にぐっとひきこまれます。読む人それぞれに、お気に入りの夜が見つかることでしょう。

